

1. 岐阜医療科学大学

1) 「知識・理解」の分野

- ①自らの専門職種において、保健科学に貢献できる高い専門的知識・技術を有している。
- ②深い洞察力と倫理観並びに国際感覚を持ち、幅広い教養を有している。

2) 「思考・判断」の分野

- ①人の生命や健康に関し、専門職種に係る情報をチーム医療の視点を持って収集、分析できる。
- ②自らの専門職種に関する困難な課題に対し、その解決への道筋を構築することができる。

3) 「関心・意欲」の分野

社会に深い関心を持ち、保健科学の進歩に意欲を持って対応することができる。

4) 「態度」の分野

全ての患者、相談者並びに医療従事者等に対し、豊かな人間性と倫理観を持って、公平で真摯な態度で対応できる。

5) 「技能・表現」の分野

- ①それぞれの専門職種分野で高い医療技術をチーム医療の一員として発揮できる。
- ②全ての患者、相談者並びに医療従事者等に対する説明や指導等において、相手の言葉を理解し、またわかりやすく説明できる高いコミュニケーション力を発揮できる。

2. 保健科学部

保健科学部に4年以上在学し、学科毎に定めた必要単位数を修得した上で、臨床検査学科 127 単位、放射線技術学科 125 単位、看護学科 124 単位以上を修得し、卒業が認められたものに学士の学位を授与する。単位を修得するためには、以下のような資質が求められる。

- ①医療と保健の分野で、高い専門性を発揮できる知識と技術を持ち合わせ、チーム医療の一員としてこれらを活用できる能力を持っている。(知識・理解)
- ②チーム医療に必要な自主性とコミュニケーション能力を持ち、課題の解決への道筋を構築することができる。(思考・判断)
- ③社会に深い関心を持ち、保健科学の発展に積極的に参画し、医療と保健に貢献する意欲を発揮できる。(関心・意欲)
- ④生命を守る医療現場の一員としての自覚を持ち、深い洞察力と倫理観を発揮して、患者から信頼される人間性を備えている。(態度)
- ⑤医療や保健の現場で、相手の言葉を理解し、人に説明することができる高いコミュニケーション力を発揮する能力を持つ。(技能・表現)

### 3. 助産学専攻科

修了要件として、助産学基礎領域 7 単位、助産学実践領域 25 単位、助産学関連領域 4 単位を修得し、合計 36 単位以上を修得すること。

- ①母子の生命・人格を尊重した母子支援ができる。
- ②産科医療チームの一員としての自覚を持ち、常に連絡・報告・相談を行って、協働と責任ある行動がとれる。
- ③ウィメンズヘルスケアに必要な知識を有し、女性のライフステージに応じた助産診断が行なえる基礎的知識と技術を有している。
- ④妊娠期・分娩期・産褥期（新生児含む）にある女性の助産診断と、創意工夫した保健指導を行うことができる基礎的知識と技術を有している。
- ⑤正常分娩の介助が少しの助言で自立してできる。
- ⑥異常分娩の状態の臨床判断ができ、対象に必要な処置がわかる。
- ⑦助産師としての課題を発見し、助産観を形成していく姿勢を有している。

### 4. 大学院保健医療学研究科

岐阜医療科学大学大学院保健医療学研究科(以下、本大学院)は、建学の精神をもとに、高度医療専門職として保健医療学全般に関する深い見識を持ち、種々の課題を発見・解決できる研究能力を持つ人材育成を教育目標に掲げている。以下の要件を満たす者に学位を授与する。

- ①本大学院が定める課程の修了要件を満たしている。
- ②修士論文の審査に合格している。
- ③専門分野における深い見識と実践能力、指導力を有している。
- ④保健医療学の諸課題に対し、職種横断的な視点から課題を抽出、研究を立案・実施する能力を有し、社会に貢献できる。